

5 身に付けたい力・目指す児童像・具体策

栃木市立大平中央小学校

教育目標・身に付けたい力	目指す児童像（は重点）	具 体 策
じょうぶな子 ○あきらめずに挑戦する力（やりぬく力）	○健康で安全な生活態度を身に付ける。 ○<u>進んで運動に親しみ、体力の向上に努める。</u> ○夢や希望を持ち、根気強く努力を続ける。	・校内・校外における安全管理・指導の充実（感染症拡大防止対策、休み時間の過ごし方、登下校や放課後の交通指導等） ・早寝・早起き・朝ごはんの奨励（自己管理能力の育成） ・給食指導や各教科等との関連を図った食育の実施 ・身に付けさせたい力を明確にし、楽しさと活動量に満ちた体育授業の実施 ・主体的に取り組む体力づくりと体育的行事の工夫・充実 ・外遊びの奨励、異年齢集団活動の工夫と充実 ・達成感、自己肯定感や自己有用感を味わえる場の設定と充実 ・望ましい自己形成を図ることに関する内容項目（道徳科）の充実 ・9年間を見通した目指す子ども像の実現を目指したつながりのある教育の実践（大平南ブロック重点目標達成に向けた実践、キャリア教育の充実）
よく考える子 ○自分で考え伝える力（学び続ける力）	○基本的な学び方や学習習慣基礎的、基本的な学習内容を身に付ける。 ○<u>自ら考え、判断し、伝えることができる。</u> ○学ぶ楽しさと分かる喜びを実感できる。	・学習の仕方の指導の徹底（姿勢・返事・聴く・発表・ノート・タブレット等） ・「朝の活動」の充実（計画的、継続的取組み）、家庭学習・家読の習慣化（タブレット活用・学習強調週間・朗読・読書の奨励）を図る。 ・個に応じたきめ細かな指導の充実（タブレットの効果的な活用等） ・身に付けさせたい力を明確にして「できた」「わかった」を実感できる授業の展開（「とち介の学び」による授業展開） ・集団で学ぶことのよさを生かし、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善の推進（学習意欲を高める工夫とタブレットの効果的な活用） ・「学びに向かう集団づくり」と「児童が意欲的に取り組む授業づくり」を進める。（「学業指導」の充実） ・児童理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた安心感を高める環境づくりと支援の充実（南中ブロック12の実践項目） ・質の高い学びを実現するために「とちぎ未来アシストネット」を活用した体験的な学習や交流活動の充実（ふれあい学習）
支え合う子 ○自分と友達を大切にできる力（支え合う力）	○基本的な生活習慣と節度ある態度を身に付ける。 ○<u>人と関わり、人を敬い、人の嫌がることをしない。</u> ○人としてよりよく生きるために、心を鍛える。	・挨拶・返事・整理整頓を中核に据えた基本的な生活習慣の定着（児童会・PTA・地域との連携） ・家庭・大平南ブロックの連携による「5つの約束」と自律を目指した指導・支援の充実 ・問題行動等に対する早期発見、情報の把握・共有と児童指導委員会や学年等を生かした組織的対応 ・特別支援教育の視点に立った児童理解と子供に寄り添う教育相談の充実（すくすくシートの有効活用） ・児童が安心できる居場所づくりと互いに認め合う絆づくりと道徳教育・人権教育の推進（生命尊重・人権尊重） ・考え議論する道徳科授業の工夫・充実（重点内容項目） ・継続的な読書活動の奨励 ・縦割り班活動や異年齢集団活動の充実（自主的・実践的に取り組む児童会活動）

